

マンモグラフィ装置について

当院が導入したマンモグラフィ装置は「一人でも多くの方に、安心して乳がん検診を受けて欲しい」という願いが込められて設計された装置です。マンモグラフィ検査は、撮影台の上に乳房をのせ、乳房専用の圧迫板で乳房全体が見やすくするため、薄く均一に広がるように圧迫し撮影を行います。そのため、身体が触れる装置部分の角をなくし、機械特有の無機質感をできるだけ感じさせないようなデザインとなっています。さらに、「マンモグラフィ検査は痛い」というイメージを払拭するため、メーカー独自の痛みの少ない圧迫システムが搭載されています。受診される皆さんの乳房の状態に応じて、圧迫時の圧力のスピードが適宜変化し、痛みを感じにくく、乳房全体を均一に圧迫することが可能となりました。機器更新後、受診者の皆さんから【前より痛くなくなった。痛く感じなかった。】という声を多数いただいています。

加えて、最新鋭のデジタル画像処理技術により、今までは乳腺としこりが重なり、隠れて見えづらかった部分が、より強調して見えるようになり、小さな石灰化は、より精細に描出することが可能になりました。下図の赤丸のように、しこりと石灰化が強調されて見つけやすくなり、診断能が大幅に向上しました。

※当院では【[検診マンモグラフィ撮影認定技師](#)】と【[検診マンモグラフィ読影認定医師](#)】が在籍し、受診者の皆さんが安心して検査を受けていただける体制を整えています。

